

遠野風土記

28



市指定有形文化財（典籍）

所在地 東館町

所有者 市立図書館

明治時代の教科書

綾織村の小学校で、実際に使われていた「明治時代の教科書」です。

この教科書は、百二十三種三百五十一冊あり、当時の教科である読物、算術、習字、暗記、作文、体操のすべてがそろっています。教科書にはそれぞれ校印がしるされて、所蔵記録などから、実際に使われていたものであることが分かります。

一八七二（明治五年）八月、明治政府は義務教育制を導入しました。これにより全国に小学校が設置され、本市は翌年の五月に「横田村第一番小学校」を、現在の木工町瑞心院に創設しました。

当時の岩手師範学校では、本県の実情に即した教科書が作られました。本市出身の岩手師範学校教官、田口小作も山梨県師範学校在籍当時、「単語図解」や「色図」といった教科書を書いており、特に注目されます。

当時の学校教育を知る貴重な資料で、現在は市立図書館で大切に保管されています。



秋田に釣りに行ってきました。防波堤でのハタハタ釣りは大漁。自称「漁師」、釣りは名人です。この日の大物は地球！◆運動不足と食べ過ぎでメタボ注意報が点滅。娘を連れて、久しぶりにプールへ。学生時代にバドミントンで鍛えたこの体。いざ、スイミング！ バシヤ、バシヤ、「あっー」…◆今度は足がツリました。皆さんも運動前は十分な準備体操を。（小森）

先日、テレビ番組の取材を受けました。普段は逆の立場なので、とても新鮮な気分◆企画、構成、リポートなどを一人でこなすアナウンサーの実際の良さに「うん、すごい」と感嘆◆写真と動画の違いはありますが、広報とやることは同じ。さっそく今月の取材から生かされるはず…です。ぜひ、あなたも広報遠野に出演してみませんか。（馬場）